



防災とボランティア週間

平成7年(1995年) 1月17日の午前5時46分、兵庫県南部において、直下型の地震(マグニチュード7.3)が発生しました。この地震による震災は「阪神・淡路大震災」と呼ばれ、被害は、兵庫県を中心に大阪府、京都府など2府14県に及び、人的被害は、死者6,434人、行方不明者3人、負傷者43,792人という甚大なものとなりました。

「阪神・淡路大震災」を教訓に、ボランティア活動や自主的な防災活動の認識を深め、災害への備えの充実強化を図ることを目的に、毎年1月17日を「防災とボランティアの日」、1月15日から1月21日までを「防災とボランティア週間」として制定されました。防災意識を高めるために全国各地で講演会や展示会等の行事が実施されています。



(気象庁撮影：阪神高速神戸線 神戸市東灘区)



(気象庁撮影：神戸市灘区内の様子)

家庭でできる災害への備え

＜非常用バッグを準備する＞

- ・飲料水や非常食、救急用品を準備する

＜避難場所や避難経路を確認する＞

- ・自治体にあるハザードマップから避難経路を実際に確認する
- ・自治体等が実施する避難訓練に参加する

＜家の中の危険な箇所を確認する＞

- ・家具の転倒防止や配置確認をする



非常用品の備蓄



家具の固定



避難場所・経路の確認



防災訓練に参加

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ
<https://www.jma-net.go.jp/miyako/>



お問い合わせ先：宮古島地方気象台 TEL:0980-72-3054(平日のみ/8:30~17:15)